

第18回道本部定期大会 「市民と野党の共同」で安倍政権打倒を！ 「建交労フェスタ」(来年6月)を成功させよう

10月1～2日、北広島クラッセホテルで建交労北海道本部第18回定期大会を開催し、運動方針をはじめとする議案をすべて満場一致で可決しました。大会には代議員・道本部役員・傍聴者など70人が参加し、2日間にわたって活発な討論がかわされました。道本部の森国委員長が「安倍首相は9月28日に招集した臨時国会の冒頭に衆議院を解散した。これは憲法無視の国会運営の典型であり、いっさいの審議もせず森友・加計問題隠しの党利党略・私利私略の解散だ。『希望の党』が結成されたが、自民党政治を補完する第2の保守政党だということは明確だ。民進党はそこに合流しようという動きを見せており、情勢は流動的だが『市民と野党の共同』で安倍暴走政治に終止符を打たなければならない」と述べるとともに、来年6月の「建交労フェスタ」を成功させること、「強く大きな組合をつくり、要求を大きく前進させるため力を結集しよう」と呼びかけました。

道労連の黒沢幸一議長、共産党道委員会の金倉昌俊副委員長(衆議院2区予定候補)、中央本部の鈴木正明書記次長から激励のあいさつを受けたあと、俵書記長が提案した議案にもとづいて2日間でのべ13人の代議員・傍聴者が発言しました。

鉄路を守るたたかいで4人が発言

討論では4人の代議員が「北海道の鉄路を守るとりくみ」について発言し、総選挙闘争、トラック部会のとりくみ、公契約条例・建設現場調査、トンネルじん肺根絶闘争、労災認定のとりくみなど各業種と地域からの報告が続きました。

帯広支部が7人の組合員拡大

帯広支部の堀切代議員は「昨年の大会で2ケタの組織拡大をすると発言したが、なかなか組合員を増やせなかった。このままでは今年の大会に出席できないと、9月に7人の組合員を迎えて参加した。さらに介護職場の仲間にも働きかけて来年の大会までに2ケタ以上の拡大をめざす」という力強い発言がありました。

総選挙闘争方針を決定

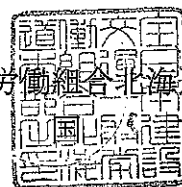
野党3党と「市民の風」に統一候補実現を要請

第18回定期大会で決定された「2017年総選挙闘争方針」にもとづいて、野党3党(民進党道連・共産党道委員会・社民党道連)と「戦争させない市民の風・北海道」に、北海道の12の小選挙区で「市民と野党の統一候補」を実現するよう要請する文書を10月2日に送りました。

2017年10月2日

民進党北海道総支部連合会
代 表 佐々木 隆 博 様
日本共産党北海道委員会
委員長 青 山 慶 二 様
社会民主党北海道連合
代 表 熊 谷 吉 正 様
戦争させない市民の風・北海道
共同代表 上 田 文 雄 様

全日本建設交運一般労働組合北海道本部
執行委員長 森



衆議院総選挙「統一候補」実現を求める要請

各党のみなさんと「戦争させない市民の風・北海道」みなさんのご奮闘に心から敬意を表します。

私たち建交労北海道本部は、安倍政権を退陣に追い込み、「9条改憲阻止」「戦争法・共謀罪廃止」をはじめ平和と民主主義、国民の生活と権利を守る政治の実現をめざす立場から、10月1～2日に開催した第18回定期大会において、衆議院総選挙における「野党統一候補」の実現を野党各党と「戦争させない市民の風・北海道」に要請することを決定しました。

北海道では、昨年5月の衆議院北海道5区補欠選挙で「野党統一候補」が実現し、与党候補をあと一步のところまで追い詰めました。

その後の安倍政権の暴走はさらに加速し、「共謀罪」の強行採決、政治の私物化などに対して国民の怒りは高まっています。さらに、憲法9条改悪をたくらみ、日本を海外で戦争する国にしようとしていることは絶対に許すわけにいきません。

憲法を改悪させないために衆議院で「3分の2」の議席を許さない、そして安倍自公政権を退陣に追い込むためには、立憲主義の立場に立ち「戦争法・共謀罪廃止」「9条改憲反対」の野党がばらばらでは総選挙に勝利できません。

北海道の12の小選挙区候補を一本化して勝利に必要な態勢を構築するとともに、全国にもその流れを広げるために各党のみなさんの合意を一日も早く実現していただきたく、また「戦争させない市民の風・北海道」のみなさんにはそのための要請をいっそう強めていただきたく、強く要請するものです。

そして、私たちも「統一候補」の当選のため全力をあげる決意を申し添えます。

以 上